1：50,000
くるめ・さが
土地分類基本調査図（土地履歴調査）

KURUME ・ SAGA
久留米・佐賀

Classification Map of Artificial Landform and Natural Landform
人工地形及び自然地形分類図

令和六年度調査

129° 58′ 00″ 0
33° 30′ 00″ 0
130° 51′ 00″ 0
33° 05′ 00″ 0

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHs 364」
「この地図で使用している背景地図画像は、電子地形図25000を使用しています。」

令和七年三月発行　国土交通省

凡　例　Legend

人工地形分類　Artificial Landform

人工平坦地（切り盛り造成地） Artificial ground (cut and fill)
- ▨ 宅地等 Flatland for residential use
- ▧ 農地等 Flatland for agricultural use
- ― 旧谷線 Buried valley
- ⬚ 改変工事中の区域 Area under modification
- ☰ 盛土地 Fill-up land
- ▥ 埋立地 Reclaimed land
- ▤ 干拓地 Drained land
- ▩ 切土地 Cut slope
- ▦ 人工水面 Artificial water surface

自然地形分類　Natural landform

山地 Mountains
- 🟫 山地斜面等 Mountain slopes
- ▒ 麓屑面及び崖錐 Colluvial slope or Talus
- ▒ 土石流堆積地 Depositional landform formed by debris flow

台地 Terraces and upland
- 🟧 砂礫台地（更新世段丘） Gravel terrace (Pleistocene terrace)
- 🟧 ローム台地（更新世段丘） Loam terrace (Pleistocene terrace)

低地 Lowland
- ▒ 緩扇状地 Gentle alluvial fan
- ▒ 扇状地 Alluvial fan
- 🟩 谷底低地 Valley bottom
- 🟩 氾濫原低地 Flood plain (back marsh)
- 🟨 自然堤防 Natural levee
- 🟪 旧河道 Abandoned channel
- 🟩 湿地 Wetland
- 🟩 三角州・海岸低地 Delta or Coastal lowland
- ▒ 砂州・砂堆（礫州・礫堆） Sand bar
- 🟨 天井川及び天井川沿いの微高地 Raised bed river
- ⬜ 河原・河川敷 Dry river bed

水部 Water
- 🟦 現水部 Recent water surface
- 🟦 旧水部 Former water surface

副分類 Subdivision of Natural landform
- ▩ 崖 Cliff
- ▨ 凹地・浅い谷 Depression ・Shallow valley

1.「自然地形分類」は、国土地理院が整備した治水地形分類図「甘木」(2020)、同「広滝」(2020)、同「中原」(2020)、同「鳥栖」(2016)、同「田主丸」(2020)、同「吉井」(2020)、同「小城」(2013)、同「佐賀北部」(2010)、同「久留米西部」(2015)、同「久留米」(2016)、同「草野」(2018)、同「千足」(2020)、同「有田」(2023)、同「武雄」(2023)、同「牛津」(2013)、同「佐賀南部」(2010)、同「羽犬塚」(2015)、同「八女」(2015)、同「嬉野」(2023)、同「鹿島」(2023)、同「牛屋」(2014)、同「佐賀空港」(2010)、同「柳川」(2013)を基礎資料として編集したものである。

また、治水地形分類図が整備されていない地域に関しては、以下の既存資料を参照し、空中写真及び旧版地形図の判読により作成した。参考にした既存資料は国土地理院が整備した２万５千分の１都市圏活断層図「脊振山」(2013)、同「甘木」(2013)、同「武雄」(2021)、同「佐賀」(2021)、同「久留米」(2000)、及び5万分の１土地分類基本調査（地形分類図）「浜崎」（佐賀県,1978)、同「脊振山」（佐賀県,1977)、同「甘木」（福岡県・佐賀県,1979)、同「吉井」（福岡県,1984)、同「伊万里」（佐賀県,1975)、同「武雄」（佐賀県,1973)、同「佐賀」（経済企画庁,1964)、同「日田・八方ヶ岳」（福岡県,1985)、同「早岐」（長崎県,1975)、同「鹿島」（佐賀県,1976)、同「大牟田・山鹿・荒尾」（福岡県,1986)。

判読に使用した空中写真は米軍が撮影したM106（1947年４月３日）、M186（1947年３月26日）、M198-2（1947年４月５日）、M266（1947年４月16日）、M267（1947年４月17日）、M364（1947年６月18日）、M381（1947年11月21日）、M663（1947年11月21日）、M664-1（1947年11月21日）、M665（1947年11月21日）、M742（1948年１月19日）、M743-1（1948年１月19日）。

判読に使用した旧版地形図は大日本帝國陸地測量部が発行、作成した５万分１地形図「吉井」（1903年３月30日）、同「甘木」（1904年３月30日）、同「脊振山」（1904年３月30日）、同「濱崎」（1903年12月28日）、同「豆田」（1903年３月30日）、同「久留米」（1904年３月30日）、同「山鹿」（1902年３月30日）、同「佐賀」（1902年12月28日）、同「柳河」（1903年３月30日）、同「武雄」（1902年12月28日）、同「鹿嶋」（1902年12月28日行）、同「伊萬里」（1914年４月30日）、同「早岐」（発行日不明）

現水部については、数値地図（国土基本情報,2024年７月４日入手）の水涯線及び海岸線のデータを編集して作成した。

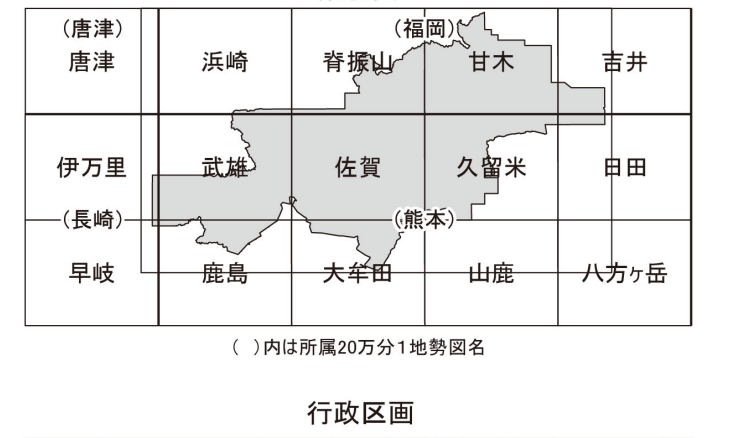
2.「人工地形分類」は、調査時点で最新の電子地形図25000（2024年調製）の読図及び基盤地図情報（数値標高モデル,2024年７月４日入手）、国土地理院が撮影した空中写真CKU20101（2010年５月14日）、CKU20143（2014年５月２日）、CKU20182（2018年４月28日）、CKU20211（2021年５月６日）、CKU20212（2021年５月６日）、CKU20221（2022年５月４日）、CKU20222（2022年５月４日）の補足判読より作成したものである。上記資料のとおり、2010～2020年代前半の状況を反映しているが、資料の状況により最新の地形改変の状況が表現されていない場合がある。

3.本図の作成にあたっては、名古屋大学の　海津　正倫　名誉教授、関西大学の黒木 貴一 教授、佐賀大学の 黒田 圭介 准教授のご指導をいただいた。

摘　要

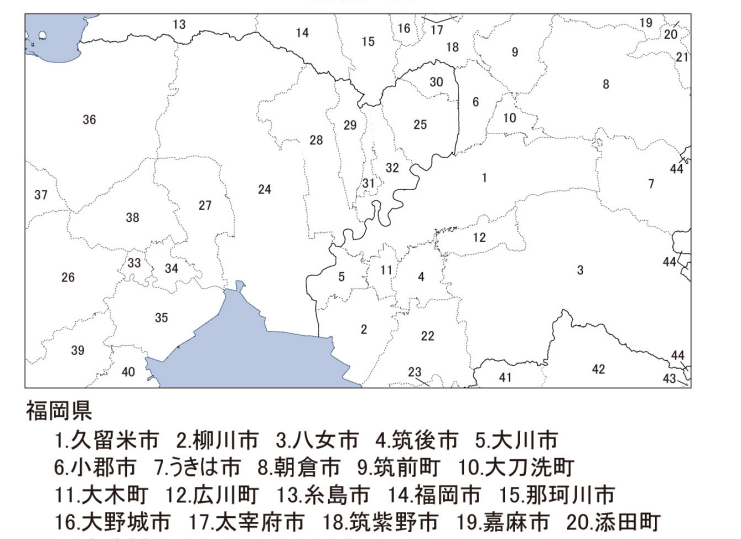
1. 経緯度の基準は世界測地系
2. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、
   座標帯は第52帯，中央子午線は東経129°
3. 作業機関　国土地図株式会社
4. 背景地図　電子地形図25000（令和6年7月調製）
5. 対応する二次メッシュコード
   492957, 492967, 492977, 493050, 493051, 493052, 493053, 493054, 493055, 493056, 493060, 493061, 493062, 493063, 493064, 493065, 493066, 493070, 493071, 493072, 493073, 493074, 493075, 493076, 502907, 502917, 503000, 503001, 503002, 503003, 503004, 503005, 503006, 503010, 503011, 503012, 503013, 503014, 503015, 503016

索引図



（　）内は所属20万分1地勢図名

行政区画



福岡県
1.久留米市　2.柳川市　3.八女市　4.筑後市　5.大川市
6.小郡市　7.うきは市　8.朝倉市　9.筑前町　10.大刀洗町
11.大木町　12.広川町　13.糸島市　14.福岡市　15.那珂川市
16.大野城市　17.太宰府市　18.筑紫野市　19.嘉麻市　20.添田町
21.東峰村　22.みやま市　23.大牟田市

佐賀県
24.佐賀市　25.鳥栖市　26.武雄市　27.小城市　28.神埼市
29.吉野ヶ里町　30.基山町　31.上峰町　32.みやき町　33.大町町
34.江北町　35.白石町　36.唐津市　37.伊万里市　38.多久市
39.嬉野市　40.鹿島市

熊本県
41.和水町　42.山鹿市　43.菊池市

大分県
44.日田市

1：50,000　久留米・佐賀

1000m　0　1000　2000　3000

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (C) 2025